インドス・ハイウェイ建設計画（Ⅲ）【パキスタン】

施策所管局課 国別開発協力第二課
 評価年月日 平成 29 年 4 月

1 案件概要	
(1) 供与国名	パキスタン
(2) 案件名	インドス・ハイウェイ建設計画（Ⅲ）
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日, 供与条件などを含む	<p>シンド州中部から北部において, インドス・ハイウェイ残余部分（約 200km）の現道（2 車線）に並行して新道（2 車線）を建設することにより, 交通のボトルネックの解消を図り, もってインドス・ハイウェイ全体の効果発現及び沿線地域の経済発展に寄与するもの。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土木工事 ・ 資機材調達 ・ コンサルティングサービス <p>ア 閣議決定日：平成 18 年 12 月 12 日 イ 供与限度額：194.55 億円 ウ 金利：1.3% エ 償還（据置）期間：30（10）年 オ 調達条件：一般アンタイト</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状</p> <p>本事業計画当初, インドス・ハイウェイ（国道 55 号線）は, ペシャワールとカラチを結ぶ国内物流の基幹ルートとして, 東岸を走る国道 5 号線よりもペシャワール・カラチ間の走行距離を約 500km 短縮するものであるが, 一部区間が未整備（幅員が狭く, 国道基準を満たしていない）であったため, 国道 5 号線に交通が偏重する傾向が見られており, これを解決すべく, 南北基幹ルートの輸送能力増強を図ることを目的としていた。本計画に係る状況は当初から大きく変わらず, 本事業の実施により, ペシャワール・カラチ間の移動が 1.5 時間以上短縮されることが期待されており, 同未整備区間の整備は必要であることから, 現在も本事業に関する社会的ニーズは変わらない。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p> <p>用地取得遅延による着工の遅れや施工中に発生した洪水による遅れが発生したが, 約 200km の道路舗装は完了し, 一部の付帯工事を残すのみとなっており, 現在事業は順調に進められている。</p>
(2) 今後の対応方針	<p>本件に関する社会的ニーズに変化は見られず, 事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれ, 事業進捗を妨げていた要因は解決しており, 貸付け最終段階であることから, 引き続き支援を継続していく。</p>
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/zyoukyou.html) ・ 国際協力機構の案件検索 (http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php)

	・ 国際協力機構の事業事前評価表
(http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html)・ そのほか国際協力機構から提出された資料 |
|--|--|